



10月上旬までは最高気温が30℃を越える真夏日もあったかと思えば、下旬には甲府で初霜・初氷を観測するなど、この一カ月で一気に季節が進んだように感じています。肌寒さを感じるこの季節になると、総合型選抜や学校推薦型選抜なども本格化し、いよいよ本格的な受験シーズンのスタートとなります。すでに大安吉日の9月28日(火)に出願した大学入学共通テストでは、出願者256名全員分の確認はがきが大学入試センターから無事に届き、それぞれが申請した受験科目や個人情報などの内容が正しく登録されているか、先日、生徒本人による確認が行われました。他方、1,2年生は三者懇談も終わり、それぞれの進路実現に向けて、方向性や取り組み方法の具体化がなされたかと思います。11月中旬には新人大会や芸術文化祭などの部活動も一段落してくるかと思しますので、この時期にぜひ学習に対するギアを一段上げて勉強に力を入れてほしいと思います。

11月の進路関係行事

- 5(金) 科目登録締切①②
大学別模試③
- 6(土) 土曜講座① 登校学習会②
土曜課外①② 大学別模試③
- 13(土) 土曜講座① 登校学習会②
土曜課外①②
- 18(木) 定期試験時間割発表
- 20(土) 県民の日
- 25(木) 第4回定期試験[~30(火)]
志望校検討会③[~30(火)]

12月の進路関係行事

- 3(金) 大学入学共通テストプレ演習③
- 4(土) 土曜講座① 土曜課外① GTEC②
大学入学共通テストプレ演習③
- 7(火) 三者懇談期間③(午後)[~9(木)]
- 10(金) 大学出張講義①
- 11(土) 土曜講座① 登校学習会②
土曜課外①②
- 17(金) 大学入学共通テストプレ演習③
- 18(土) 大学入学共通テストプレ演習③
- 20(月) 学力検討会①
- 21(火) 推薦等合格者指導③
- 24(金) 終業式
- 27(月) 冬季休業開始
- 29(水) 学校完全閉鎖[~1/3(月)]

1月の進路関係行事(共通テスト後まで)

- 4(火) 大学入学共通テストプレ演習③
- 5(水) 大学入学共通テストプレ演習③
- 6(木) 始業式
- 8(土) 土曜講座① 登校学習会②
土曜課外①②
- 14(金) 大学入学共通テスト激励会③
進路講演会② 進研模試②
- 15(土) 大学入学共通テスト[~16(日)]
進研模試①②
- 17(月) 大学入学共通テスト自己採点③
大学入学共通テスト本番演習②

※○数字は学年を示します

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、今後変更になることもありますので、ご了承ください

<9月・10月の進路行事より>

3年生：進路講演会「共通テスト100日前をむかえて」

10月8日(金)7校時に駿台予備学校立川校教務マネージャーの本間章浩先生をお招きし、進路講演会を実施しました。共通テストに関するデータをもとに、受験情報だけでなくこの時期における学習の留意点や心の持ち方などについて話してくださいました。新型コロナの影響もあり、受験に対する緊張や不安が高まりつつある中で、受験生たちは第一志望実現に向けての指針や貫き通す勇気をもらうことができました。



2年生：大学別出張講義

9月24日(金)6,7校時に、山梨大学や山梨県立大学、信州大学や東京薬科大学の先生方による大学出張講義を実施しました。生徒たちはそれぞれ教育学や地域社会学、理工学や医学・看護学・薬学などの分野に分かれ、自分の希望する講座を受講しました。大学にて研究の最先端にいる先生方から、研究内容や学科の魅力について熱く語っていただき、生徒たちは自分の志望学科に対する認識を深めるとともに、自己の進路実現に向けての意欲を高めたことと思います。



1年生：成年年齢引き下げに関する授業(弁護士講座)

9月17日(金)にはフロンティア探究Iの授業を利用して、県内で活躍されている弁護士6名による成年年齢引き下げをテーマにした講義を行いました。各クラスに1人ずつ弁護士の方が来て、消費や労働などを例に、契約に関わる注意点などについて話してくれました。生徒たちは自由と同時に責任の重さも実感し、大人になることの意味を改めて考える良い機会となったと思います。



このほか、9月24日(金)にはベネッセによる進路講演会(1年生対象)を、10月8日(金)には株式会社桔梗屋相談役の中丸真治さんによる職業人講話(2年生対象)を、10月26日(火)には山梨大学生命環境学部の5名の先生方による生命環境学部説明会(3年生希望者対象)などを実施しました。

受験情報 <大学入試における全国の志望動向(3年7月進研記述模試より)>

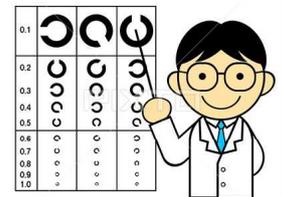
7月に行われた3年進研記述模試をもとに全国の模試受験者361,415名の志望動向がベネッセより発表されました。それによると現3年生の志望状況は国公立大学、私立大学ともに一昨年と同じ水準となっています(新型コロナウイルス感染拡大で模試受験者が大幅に減少した昨年と比べると、国公立大・私立大ともに志願者数は増加)。学問別でみると語学系統で昨年度に引き続き大きく志望者を減らしており、同じく志願者を減らしている国際関係学系統とともに、新型コロナウイルス感染拡大による留学などの先行きの不透明さの影響が色濃く出ているように感じます。一方、法学系統や薬学系統の人気の非常に高く、それに加えて国公立大学では医・歯学系統が、私立大学では理・工学系統、農・水産系統が志望者を集めています。特に総合科学系統の総合情報学の人気が高く、文系系統全体の不人気も相まって、文理融合型の入試の採用の多いこの系統に文系の生徒が多く志望していることも志望者増加の一因と考えられています。

また首都圏の国公立大学の大学別志望動向では、東京大やお茶の水女子大、東京農工大で昨年よりも志願者が増加している一方、埼玉県立大、千葉保健医療大、東京都立大などで志望者を減らしています。難関国公立大学では先ほどの東京大のほか、北海道大、大阪大、神戸大で志望者が増えています。山梨県内では山梨大で志願者がやや増加、山梨県立大で志願者が大きく減少、都留文科大はほぼ昨年並みの志望者数となっています。他方、私立大学ではMARCH(明治大・青山学院大・立教大・中央大・法政大)の志望者数増加が目立つほか、成蹊大、日本大、専修大、東京農業大、東京都市大でも志願者数が増えているのが特徴です。

志望動向はあくまで夏休み前の志望動向であり、今後の成績の伸び方や共通テストの結果、そして新型コロナウイルスの感染拡大状況などによっても志望動向は変化します。またどの学力層の志望者が増減しているのかを細かく分析していくことも大切です。ただ志望者を集めている大学、学部系統ではそれだけライバルも多く、試験当日の出来、少し大げさに言えば1点の差が、例年以上に重要になってきます。実際、大学入試を受けた卒業生たちが1点の差で合格または不合格になったという入試の開示結果を進路指導室に見せに来てくれることも多いです。「1点を軽視する者は1点に泣く」。ぜひ本番でもミス減らし、実力を十分に出し切れるよう、常日頃から緊張感を持って学習や試験に臨んでほしいと思います。

◆◆◆1,2年生へ～近視的学習に陥っていませんか?～◆◆◆

2学期も後半戦に入り、1年生はずいぶん学校に慣れてきたのではないのでしょうか。2年生は中だるみの時期だとよく言われますがどうでしょうか。なかには生徒会活動や部活動の中心として活躍し、多忙な日々を送っている人もたくさんいるかと思えます。さて学校生活に慣れてきたり、多忙な毎日を過ごしたりしていると、一番最初に疎かになりがちなのが勉強です。いやいや、毎日課題も提出し、小テストにも合格していますよという人もいるかと思えます。しかし課題の目的は提出することではなく、小テストもまた合格することが目的ではありません。それはすぐ目の前の結果のみを重視する、いわば「近視的学習」と言えます。学習の本質は「新しいことに会う楽しさを感じること」や「自分や世界の諸問題に対して、自分で考える力、自分自身や仲間とともに切り拓いていく力を身につけること」であり、こうした過程を通じて自分自身、そして世界をより成長させるところに意義があると私は思います。慣れや多忙さなどで、結果のみを必要以上に求め、学びの本質を見失ってしまうと、「問題が解けること」や「点数が取れること」が学習の第一目的となり、必然的に「どうやって解くのか」、「どうやって点を取るのか」という方法のみに偏った学習に走ってしまいがちです。そうした考え方の学習では同じ時間をかけても薄っぺらい学力しか身につかず、これからどんどん難しくなる授業はもちろん受験や社会で通用する能力にはつながっていきません。ぜひ慣れてきたとき、多忙で時間がないときこそ、原点に立ち帰り、学びの本質を思い出して学習に向かってほしいと思います。そうすれば見失いかけていた学習の楽しさにもきっと気づけると思えます。



学力視力検査 該当する項目に○をつけていこう!

○	質問項目
	①数学のおもしろさは「解ける」ことにある
	②物理や数学は公式に当てはめればよい
	③定義や定理よりも解法の方が重要である
	④問題は解ければいいので、別解は不要だ
	⑤歴史は年表を丸暗記すれば大丈夫だ
	⑥課題は提出することに意味がある
	⑦私が勉強するのは入試に合格するためである
	⑧目の前の課題だけしかやれていない
	⑨テストは返ってきた答案よりも点数が気になる
診断結果	0個:学習視力2.0 遠くまで見通した良い学習ができています。
	1個:学習視力0.7 高校生としての資格はギリギリセーフ?
	2~4個:学習視力0.3 矯正(強制?)が必要か?考え方にメガネを。
	5個以上:学習視力0.1 強度の学習近視。学びの本質を見失っている?